

産業医学関連研修会の Web 配信に関する検討		
ガイドラインステップ	キーワード	・遠隔地研修会 ・Web コンテンツ
15	(6 つ以内)	・テレビ会議システム ・インターネット配信
改善・取組みの背景と課題	<p>全国の都道府県産業保健推進センターでは、数多くの有意義な産業保健に関する研修会が提供されている。しかし、対象者である産業医、産業看護職あるいは安全衛生管理者・推進者等は本来業務に忙しく、また遠隔地で開催される場合受講できないことも多い。今回、より多くの対象者が受講可能になるように、インターネットを介した研修会の Web 配信の方法およびテレビ会議システムについて検討した。</p>	
改善・取組みの着眼点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. インターネットを介する研修会のライブ配信により、経費の見積もりを試みた。</li> <li>2. ライブ配信に及ばないが、できるだけ早期にインターネット配信可能なシステムを検討した。</li> <li>3. 上記1, 2は質問、相談がその場でできないことから、インターネットを介した双方向性のテレビ会議システムの研修会への応用を検討した。</li> <li>4. いずれもインターネットを使用できる環境であれば、国内、海外からでもアクセス可能であることから、より多くの参加者が期待できる。</li> </ol>	
改善・取組みの概要	<p>福岡産業保健推進センターで実施されている研修会を対象に、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ライブによる Web 配信: ミキサー (Anycast Station, ソニー)、エンコード用コンピュータ、ビデオカメラ 2 台 (講演者および受講者用) を使用した。</li> <li>2) MPMeisterSlim (リコー) による Web 配信ファイル自動作成ソフト: パワーポイントによる講演をビデオ撮りし、Web コンテンツに自動変換後配信を試みた。</li> <li>3) 双方向TV会議システム (Vips、キューデンインフィコム) を検討した。</li> </ol>	

